村山市 消防団広報誌

問合せ先
〈村山市消防本部〉
TEL 55-2514
〈災害情報テレホンサービス〉
TEL 55-0119
〈E-mail〉
syoubouhonbu@city.murayama.lg.jp

新しい団本部三役を紹介します

年頭あいさつ

〈村山市消防団長〉鈴木　慶美

平成29年4月に村山市消防団長を拝命するに至り、一言ごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、平素より消防団活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

村山市消防団は、地域に密着した消防・防災のリーダーとして、市民の生命、身体および財産を災害から守るという重要な役割を担うため、日夜、献身的に活動を続けています。近年、全国各地で、これまでに経験したことのないような集中豪雨や土砂災害などが発生しており、消防団の役割と重要性、我々に対する期待は益々大きくなっていると感じています。

そのような中、少子高齢化等の社会変化に伴い、全国的に消防団員数が減少しております。本市においても、団員の確保が大きな課題となっておりますが、市民の皆様と一体となって、「自分たちのまちは自分たちで守る」という深い郷土愛護の精神のもと、市民の安心・安全のため団員一丸となり、活動の充実と地域防災力の向上を進めてまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご多幸とご活躍を祈念し、団長拝命と年頭のあいさつとさせていただきます。

〈副団長〉安達　修蔵

〈副団長〉児玉　進

団旗62年ぶりに新調

防災の誓いを新たに！

村山市民の安心・安全を守る消防の象徴として使用されております団旗が、この度62年ぶりに新調されました。この消防団旗は、京都府伏見の冨塚刺繍で製作されたものです。西陣織の生地に楯岡出身である冨塚薫さまの手により本金糸の刺繍が施された見事なまでの消防団旗となりました。消防出初式、消防大演習等で是非ご覧ください。

これからも私たちは消防団員の士気を高め、一致団結して村山市の無災害に努めてまいります。

消防防災航空隊を視察

平成27年9月に2代目が運行開始。防災ヘリ「もがみ」は救助・救急活動、林野火災等の空中消火活動及び大規模災害等による被害状況の情報収集、物資搬送など広範囲にわたって活動しています。

隊長さんからのアドバイス

山に入る際は
服装は蛍光色の明るい色で
持ち物は・**携帯電話、**
・**鏡**（反射させヘリに知らせる）
・**レジャーシート**
（ヘリが見えたらシートを振る）
を持って行きましょう

防災訓練

日時：4月16日(日)
場所：大倉行川地区

春の防災訓練は、行川地区自主防災会、大倉地区婦人消防クラブなど約420名が参加。また、訓練には大倉地域と災害時相互支援提携を結んでいる仙台市福住町町内会の皆さんもマイクロバスで救援物資を届けてくださいました。この防災訓練をとおして災害時に各々が何をすべきかを再確認し、防災に対する意識を高めました。

消防大演習

日時：4月23日(日)
第1会場：市民会館駐車場
第2会場：東沢公園

桜満開のもと、第1会場では志布市長の観閲に続き各種訓練、表彰などが行われました。第2会場では消防団員の堂々とした分列行進と着色放水が行われ、青空に虹色のアーチが描かれると沿道からは大きな歓声が上がりました。

消防操法審査会

日時：7月16日(日)
場所：最上川イベント広場

審査会にはポンプ車5隊、小型ポンプ11隊が出場しました。消防操法は火災現場での消火活動を行うための基本動作です。各チームは約1ヶ月間の厳しい訓練を重ねてきた成果を遺憾なく発揮しました。

村山市消防団 消防団員募集中です！

求む！

私たちといっしょに活動してみませんか？

広報で防災の呼びかけ、応急手当訓練など皆様の安全を願い活動しています。

新入団員紹介

森　大樹〈8分団〉　黒沼　梢〈8分団〉　上野　拓也〈5分団〉

地域の皆さんの安全のために頑張りますので、よろしくお願いします。

編集後記

カラー印刷の導入に伴い、今年度は大幅に紙面を刷新いたしました。生き生きとした消防団活動の様子をぜひご覧ください。広報紙作成にあたっては多くの取材にご協力をいただきありがとうございました。今後も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

〈編集委員〉
委員長　柴崎 宏美(第1分団)
副委員長　村岡 恵美子(第1分団)
本間 美穂(第1分団)
委　員　柴崎 一枝(団本部)
丹野 昭子(第2分団)
齋藤 里美(第3分団)
芦野 恵子(第4分団)
青木 恵美(第5分団)
髙橋 育子(第6分団)
永岡 美由紀(第7分団)
髙橋 夕子(第8分団)

全国版救急受信アプリ

Q助（きゅーすけ）　いますぐダウンロード

症状の緊急度を素早く判定!!
救急車を呼ぶ目安に。

総務省消防庁「Q助」案内サイト
https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html

点検しよう〈住宅用火災警報器〉

●定期的な作動確認
点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり定期的な作動確認をしましょう。

●古くなったら交換
10年を目安に交換しましょう。

忘れてイナイ(171)？ 災害伝言ダイヤル171

地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

体験しよう 安否情報の確認方法
毎月1、15日や防災週間などで体験できるので使い方を確認しましょう。

もしもの時に